



# ますのきょうだい

万寿小学校学校便り NO.39

R8年3月18日(水)

修了式で6年生に話をしました。

『明日、晴れて卒業式を迎える六年生みなさん、ご卒業おめでとうございます。』

皆さんが今日ここに立っているのは、自分自身の努力はもちろんですが、陰で支えて下さったご家族、先生、友達がいたからです。感謝の気持ちを忘れず明日の式に臨んで欲しいと思っています。

さて、みなさんがこれから生きていく未来は、「AI(人工知能)が当たり前に使われる時代です。わからないことがあれば、すぐに答えが出てきます。文章も、絵も、音楽も、動画も、AIがつくることができます。では、そんな時代に、人は何を大切に生きていけばいいのでしょうか。

一つ目は「問いをもつ力です。」AIは答えを導き出してくれます。でも、「どんな問いをたてるか」は人間にしかできません。「どうして」「なぜ」を考える人が未来をつくっていくのです。二つ目は「感じる心です」うれしい、くやしい、ありがたい、かなしい 人の気持ちを想像したり、誰かの痛みに気づいたりする力はAIにはありません。人を思いやる心こそ、これからの時代には一番必要な力なのです。最後に「やってみる勇氣」です。AIが正しい答えを導きだしても、最後に一歩踏み出すのは自分なのです。失敗してもいい、遠回りしてもいい自分の足で経験したことは、誰にも奪うことのできない宝物となります。

皆さんはこれから新しいステージに進みます。答えのない時代を生きていくなと言われています。

新しい学び、新しい友人、新しい先生。どれも新鮮ですが、戸惑うこともあると思います。ただ、「小さなことから一歩ずつ」「当たり前のことを当たり前」を大切にすればおのずと道は開けてきます。

多くの人たちの影響を受けながら、自分の目標を見つけ成長していきましょう。これからも感謝と思いやりの心を忘れずに明るい未来を切り開いてください。これからも感謝と思いやりの心を忘れずに明るい未来を切り開いてください。ふと気づくと、みなさんの目の前には新しい世界が広がっていることでしょう。みなさんの豊かな成長を心から願っています。』

令和8年3月18日

倉敷市立万寿小学校長 福永 誠二

卒業式が近づくにつれて、明るくいい表情で、過ごしている6年生が増えてきました。「卒業することに実感が沸いてきた。寂しい。」という子もいれば「中学校が楽しみ。特に社会科が楽しみ。」という子もいました。証書受け取りや呼名の返事も随分、向上していて、練習を頑張っている様子が伺えます。

明日の卒業式での晴れ姿をぜひご覧ください。

